

事業	文化財保存費				担当部署	部名	教育委員会		
202	事務事業名				課名	文化・スポーツ課			
					電話	59-8093			
総合計画	施策の大綱	第2部 だれもがいきいきと輝くまち			予算科目	会計	款	教育費	
	政策名(章)	第2章 だれもがきらめくまちづくり					一般会計	項	社会教育費
	施策名(節)	第2節 芸術・文化の継承と創造						目	文化財保護費
事業開始・終了年度	平成 17 年度			~	平成 - 年度				
根拠法令・要綱等	文化財保護法・射水市文化財保護条例								
計画掲載	射水市総合計画実施計画	有	7	頁	個別計画				

事業目的	対象 (誰を・何を)	指定文化財及び文化財
	意図 (どのような状態に)	恒久的に保存し、次代に継承する。
事業内容	手段 (どのような方法で)	指定文化財台帳の整備・指定民俗文化財のデジタル映像記録保存化・文化財等リーフレットの作成などの直接的な保護措置のほか、調査研究活動や普及啓発活動に多くの市民を巻き込みながら文化財保護意識を高める。

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 29 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	普及啓発参加者及び調査関係者数 (デジタル映像化・リーフレット・出前講座・調査等)	人	2562	1500	1898	126.5	1500	2000	
	(草仮名墨書土器見学者数)	(人)	1136	-	-		-	-	

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	普及啓発事業数 (出前講座・リーフレット作成・デジタル映像化等)	件	17	13	13	100.0	15
	調査・保存活動件数	件	3	3	3	100.0	7

事業費・人員	事業費	H20決算	H21決算	伸率	H22予算
		直接事業費	3,530 千円	2,227 千円	36.9
人件費	12,075 千円	7,480 千円	38.1	10,540 千円	
退職手当引当金相当額	1,750 千円	1,100 千円	37.1	1,550 千円	
事業コスト計	17,355 千円	10,807 千円	37.7	14,581 千円	
財源内訳	国県支出金	200 千円	100 千円	50.0	367 千円
	その他	1,935 千円	500 千円	74.2	0 千円
	一般財源	15,220 千円	10,207 千円	32.9	14,214 千円
	当該事務従事職員数	1.75 人	1.10 人	37.1	1.55 人

評価項目	点数	説明
必要性	4	文化財は、長い歴史の中で生まれ、今日の世代に守り伝えられてきた貴重な市民共有の財産で、地域の歴史、文化等の正しい理解に必要不可欠であり、市、所有者、市民が一体となって保存継承することが求められる。
有効性	3	メディアや記録媒体も活用し、より多くの市民に文化財に触れてもらうことの検討が必要である。
達成度	4	取組んだ各目標については、達成できた。ただし、出前講座については、依頼件数の増減により活動及び成果指標双方に影響が及ぶ。また、依頼に対応した活動で、目標の数値設定が困難であるが普及活動としては効果が高い。
効率性	3	各種の有利な助成制度を利用し、事業のコストを削減を図りながらも、初期の目標や水準を維持して遂行している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	指定文化財台帳整備で得られた多くの関連資料を積極的に公開するために、既存施設やメディア等を活用して情報発信し、市民が郷土の文化財に関心を持ち、愛護の心が育まれるような取り組みについても実施したい。

事業 203	補助金 の名称	曳山車修理事業補助金 (射水市文化財保存事業費補助金)				担当 部署	部名	教育委員会	
							課名	文化・スポーツ課	
						電話	59-8093		
総合 計画	施策の大綱	第2部 だれもがいきいきと輝くまち			予 算 科 目	会 計	一般会計	款	教育費
	政策名(章)	第2章 だれもがきらめくまちづくり						項	社会教育費
	施策名(節)	第2節 芸術・文化の継承と創造						目	文化財保護費
補助期間		平成 19 年度 ~ 平成 - 年度							
根拠法令・要綱等		射水市文化財保存事業費補助金交付要綱							

事業 目的	対象 (交付先)	指定文化財の所有者または管理者及びその団体。(南立町曳山保存会・海老江西町文化財保存会)						
	意図 (補助目的)	射水市内における指定文化財の保存継承を図るため						
事業 内容	手段 (主な活動)	曳山車の保存修理事業 ・提灯台の改修及び提灯の新調に対する補助 ・長手・車軸の新調に対する補助						
		類 型 区 分	団体運営費補助 格差是正補助	事業費補助 利子補給	施設等整備費補助 その他()	政策的補助		

成果 指標	指 標 名	単 位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
				現状変更許可条件に沿った修理の実施	件	2
	安全な巡行の確保(提灯台や車軸の不具合の事故防止)	件	2	2	2	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	2,000 千円	(金額)	3,365 千円	(金額)	3,686 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	2 件	(件数)	2 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	指定民俗文化財曳山車の保存修理事業の場合				2,000 千円	
定率補助	現行の150万円以上の修理対象経費の1/2以内の額(ただし、200万円を				上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載		
その他	限度とする。						

評価項目	点数	説 明
妥当性	4	地域を代表する伝統行事で特に市が指定して保護対象とした文化財であり、後世に継承する責務を負う所有者及び管理団体への補助は妥当である。
有効性	4	修理の完成により山町の住民の保存継承への意識が更に強まった。 車軸と長手及び提灯台の新調により今後の安全な巡行の確保が図られた。
効率性	4	過去26年間(19件)の1件当たりの平均修理費は4,483千円を要していることから、現行の補助金額は適当。また、5年を経過しないと新たな補助金を受けられない制約を設けていることから効率性についても妥当と考える。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	長期の使用に耐え得る修理方法などについて調査検討し、補助金が保存継承により有効に活用されるよう適切な指導を行ないたい。

事業 204	補助金 の名称	競技団体、地区(校下)育成補助金				担当 部署	部名	教育委員会
						課名	文化・スポーツ課	
					電話	59-8093		
総合 計画	施策の大綱	第2部	だれもがいいきと輝くまち	予算 科目	会計	一般会計	款	教育費
	政策名(章)	第2章	だれもがきらめくまちづくり				項	保健体育費
	施策名(節)	第3節	スポーツ・レクリエーションの振興				目	体育総務費
補助期間		平成 18 年度 ~ 平成 年度						
根拠法令・要綱等		無						

事業 目的	対象 (交付先)	(財)射水市体育協会(30競技団体、27地区体育協会)					
	意図 (補助目的)	(財)射水市体育協会加盟団体の育成強化及び運営補助					
事業 内容	手段 (主な活動)	各競技団体及び地区体育協会の育成及び運営強化を図る。また、競技団体や地区体育協会行事により、市民の一層のスポーツ活動への参加機会の拡充、生涯スポーツの普及推進を図り、健康で活力あるまちづくりを推進する。					
		類型区分	団体運営費補助 格差是正補助	事業費補助 利子補給	施設等整備費補助 その他()	政策的補助	

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	射水市体育協会加盟 競技協会団体数	団体	30	30	30	100.0
	射水市体育協会加盟 地区体育協会団体数	団体	27	27	27	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	4,838 千円	(金額)	4,838 千円	(金額)	4,838 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	競技協会5段階補助40、70、110、150、190千円 地区体協一律定額補助34千円				190 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	各競技団体、地区体育協会の運営強化を図るための補助であり、公益性、公平性が保られており、事業内容、目的から妥当である。
有効性	3	各競技団体、地区体育協会の運営強化を図ることにより、市民の一層のスポーツ活動への参加機会の拡充、生涯スポーツの普及が推進され、健康で活力あるまちづくりに寄与しており有効である。
効率性	3	現行の補助金により目的に向かい推進していることに鑑み、現行水準は確保したい。ただし、地区(校下)育成補助金については、地域コミュニティ醸成の色合いが濃いことから地域振興会交付金事業への振替を検討した方が良い。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	引き続き、各競技団体及び地区体育協会の育成及び運営強化を図る。 27地区(校下)体育協会育成補助金は地域振興会交付金事業へ振替える

事業 205	補助金の名称	地区(校下)運動会開催補助金				担当部署	部名	教育委員会
						課名	文化・スポーツ課	
						電話	59-8093	
総合計画	施策の大綱	第2部	だれもがいきいきと輝くまち	予算科目	会計	一般会計	款	教育費
	政策名(章)	第2章	だれもがきらめくまちづくり				項	保健体育費
	施策名(節)	第3節	スポーツ・レクリエーションの振興				目	体育総務費
補助期間		平成 18 年度 ~ 平成 年度						平成 年度
根拠法令・要綱等		無						

事業目的	対象(交付先)	(財)射水市体育協会 (地区(校下)体育協会)					
	意図(補助目的)	地区(校下)の運動会を開催することにより、市民のスポーツ活動参加機会の拡充、地域のコミュニティの醸成、健康で活力あるまちづくりに寄与する。					
事業内容	手段(主な活動)	地区(校下)の運動会の開催					
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他()			

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	地区運動会開催数	地区	27	27	27	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	4,112 千円	(金額)	3,771 千円	(金額)	3,679 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	定額50,000円 + 人口割(25円 × 地区人口)				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	地区(校下)の運動会の開催補助であり、公益性、公平性が保たれており、事業内容、目的からも妥当である。
有効性	3	市民のスポーツ活動への参加機会の拡充、生涯スポーツの普及が推進され、健康で活力あるまちづくりに寄与しており有効である。
効率性	4	地区(校下)体育協会が中心となり実施しており、目的に向かい推進していることから現行水準は確保したい。ただし地域コミュニティ醸成の色合いが濃いことから地域振興会交付金事業への振替を検討した方がよい。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	地域振興会交付金事業へ振替える。

事業	補助金の名称	県駅伝競走大会補助金				担当部署	部名	教育委員会
206							課名	文化・スポーツ課
							電話	59-8093
総合計画	施策の大綱	第2部	だれもがいきいきと輝くまち	予算科目	一般会計	款	教育費	
	政策名(章)	第2章	だれもがきらめくまちづくり	会計		項	保健体育費	
	施策名(節)	第3節	スポーツ・レクリエーションの振興			目	体育総務費	
補助期間	平成 19 年度		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等	無							

事業目的	対象(交付先)	(財)射水市体育協会						
	意図(補助目的)	射水市を代表して、県駅伝競走大会に出場する選手への支援						
事業内容	手段(主な活動)	富山県駅伝競走大会の試走会や大会出場						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	総合順位(全12郡市)	位	3	3	3	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度			
	(金額)	320千円	(金額)	320千円	(金額)	320千円		
	(件数)	1件	(件数)	1件	(件数)	1件		
	補助区分	内 容				上限額		
	定額補助	選手のユニホーム、Tシャツ、昼食、案内諸費				320千円		
	定率補助					上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載		
その他								

評価項目	点数	説明
妥当性	4	射水市を代表して出場する選手への支援であり、妥当である。
有効性	4	健康で活力あるまちづくりに寄与しており、有効である。
効率性	4	この補助金により、選手等への支援がされており、効率性がある。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	引き続き、支援する。

事業 207	補助金の名称 海王丸ロードレース大会補助金	担当部署 部名 教育委員会 課名 文化・スポーツ課 電話 59-8093
総合計画	施策の大綱 第2部 だれもがいきいきと輝くまち 政策名(章) 第2章 だれもがきらめくまちづくり 施策名(節) 第3節 スポーツ・レクリエーションの振興	予算科目 会計 一般会計 款 教育費 項 保健体育費 目 体育総務費
補助期間	平成 11 年度 ~ 平成 年度	
根拠法令・要綱等	無	

事業目的	対象(交付先) (財)射水市体育協会								
事業内容	意図(補助目的) 射水市の海王丸パークでロードレースを開催することにより、活力あるまちづくりを推進し、スポーツ活動の振興を図る								
手段(主な活動)	海王丸ロードレース大会の開催								
類型区分	<table border="1"> <tr> <td>団体運営費補助</td> <td>事業費補助</td> <td>施設等整備費補助</td> <td>政策的補助</td> </tr> <tr> <td>格差是正補助</td> <td>利子補給</td> <td>その他()</td> <td></td> </tr> </table>	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	格差是正補助	利子補給	その他()	
団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助						
格差是正補助	利子補給	その他()							

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	大会参加者	人	712	750	749	99.9
	県外参加者	人	22	22	22	100.0
	市外参加者(県外参加者除く)	人	297	300	312	104.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	2,500 千円	(金額)	2,250 千円	(金額)	2,250 千円
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件
	補助区分	内 容			上限額	
	定額補助	大会開催の費用			2,250 千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載					
その他						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	海王丸ロードレースを開催し、活力あるまちづくりの推進、スポーツ活動の振興を図るための補助であり妥当である。
有効性	4	健康で活力あるまちづくりに寄与しており、有効である。
効率性	3	大会の意義はあるものと考えるが、対象、目的が類似している元旦マラソンもあり、検討の余地があると思われる。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	妥当性、有効性、効率性から引き続き開催補助は必要であるが、元旦マラソンとの兼ね合いも検討すべき

事業	補助金の名称	スポーツ少年団活動補助金				担当部署	部名	教育委員会
208							課名	文化・スポーツ課
							電話	59-8093
総合計画	施策の大綱	第2部	だれもがいきいきと輝くまち	予算科目	会計	一般会計	款	教育費
	政策名(章)	第2章	だれもがきらめくまちづくり				項	保健体育費
	施策名(節)	第3節	スポーツ・レクリエーションの振興				目	体育総務費
補助期間	平成 18 年度 ~ 平成 年度							
根拠法令・要綱等	無							

事業目的	対象(交付先)	射水市スポーツ少年団						
	意図(補助目的)	射水市スポーツ少年団の育成と運営を支援する						
事業内容	手段(主な活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・総合結団式の実施 ・冬季スポーツレクリエーション大会の実施 ・指導者及び団員表彰 ・県競技別総合交流大会への参加 						
		類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助	格差是正補助	
		その他()						

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	団員人数	人	1,323	1,290	1,288	99.8

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	2,838 千円	(金額)	2,956 千円	(金額)	2,644 千円	
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	スポーツ少年団の育成、活動運営				千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	スポーツ少年団員がスポーツを通して健康な体と心を養うための支援であり、妥当である。
有効性	4	スポーツ少年団活動は、立派な人間形成の意味からも有効である。
効率性	4	現行の補助金や団登録費により運営され、目的に向かい推進していることから、効率性がよい

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	引き続き、スポーツ少年団の育成、運営の支援をする。

事業 209	補助金 の名称	県駅伝競走大会開催補助金				担当 部署	部名	教育委員会
						課名	文化・スポーツ課	
				電話	59-8093			
総合 計画	施策の大綱	第2部 だれもがいきいきと輝くまち		予 算 科 目	会 計	一般会計	款	教育費
	政策名(章)	第2章 だれもがきらめくまちづくり					項	保健体育費
	施策名(節)	第3節 スポーツ・レクリエーションの振興					目	体育総務費
補助期間		昭和 57 年度 ~ 平成 年度						
根拠法令・要綱等		無						

事業 目的	対象 (交付先)	富山県駅伝競走大会実行委員会					
	意図 (補助目的)	県民のスポーツに対する意識の高揚を図るとともに、連帯感あふれる地域づくりと活力ある県民生活の実現を目指す					
事業 内容	手段 (主な活動)	富山県駅伝競走大会の実施					
類 型 区 分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
	格差是正補助	利子補給	その他()				

成果 指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	交通指導員・自主整理員数(射水市)	人	120	120	120	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	200 千円	(金額)	200 千円	(金額)	200 千円
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件
	補助区分	内 容				上限額
	定額補助	富山県2,700千円、富山市200千円、高岡市200千円、射水市200千円の補助金				200 千円
定率補助	読売新聞社4,630千円の負担金				上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
その他						

評価項目	点数	説明
妥当性	4	県駅伝競走大会を開催する補助であり、公益性、公平性が保られており、事業内容、目的から妥当である。
有効性	3	スポーツに対する意識の高揚を図るとともに、連帯感あふれる地域づくりと活力ある県民生活の実現を目指しており有効である。
効率性	4	大会を開催することにより、活気あるまちづくりに寄与している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	引き続き補助し大会開催を支援する。

事業	補助金の名称	海王丸トライアスロン大会開催補助金				担当部署	部名	教育委員会
210							課名	文化・スポーツ課
							電話	59-8093
総合計画	施策の大綱	第2部	だれもがいきいきと輝くまち	予算科目	会計	一般会計	款	教育費
	政策名(章)	第2章	だれもがきらめくまちづくり				項	保健体育費
	施策名(節)	第3節	スポーツ・レクリエーションの振興				目	体育総務費
補助期間	平成 12 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等	無							

事業目的	対象(交付先)	富山新港・海王丸トライアスロン実行委員会						
	意図(補助目的)	海王丸パーク周辺の活性化とトライアスロン競技の普及を推進する。また、観光事業の発展に寄与する。						
事業内容	手段(主な活動)	海王丸トライアスロン大会の開催						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	大会参加者	人	42	70	72	102.9

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	250千円	(金額)	225千円	(金額)	225千円	
	(件数)	1件	(件数)	1件	(件数)	1件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	大会開催の費用				225千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	海王丸トライアスロン大会を開催し、競技の振興を図り、活力あるまちづくりの推進するための補助であり妥当である。
有効性	4	健康で活力あるまちづくりに寄与しており、有効である。
効率性	4	県民体育大会も兼ねており効率的である。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	今後も引き続き支援する。なお22年度から海老江海浜公園を会場とし、大会名を海老江海浜公園トライアスロン大会に変更する。

事業 211	補助金の名称	日韓交流少年野球大会開催補助金				担当部署	部名	教育委員会
						課名	文化・スポーツ課	
						電話	59-8093	
総合計画	施策の大綱	第2部	だれもがいきいきと輝くまち	予算科目	会計	一般会計	款	教育費
	政策名(章)	第2章	だれもがきらめくまちづくり				項	保健体育費
	施策名(節)	第3節	スポーツ・レクリエーションの振興				目	体育総務費
補助期間		平成 20 年度 ~ 平成 21 年度						
根拠法令・要綱等		無						

事業目的	対象(交付先)	財団法人 射水青年会議所					
	意図(補助目的)	日本と韓国両国の参加者がホームステイ、文化体験学習、少年野球交流大会を通じて交流を図る					
事業内容	手段(主な活動)	日韓交流少年野球大会 ホームステイ					
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他()			

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	新型インフルエンザの影響で中止					

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	千円	(金額)	100千円	(金額)	0千円	
	(件数)	件	(件数)	1件	(件数)	0件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	大会開催の費用				100千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性		新型インフルエンザの影響で中止
有効性		新型インフルエンザの影響で中止
効率性		新型インフルエンザの影響で中止

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
	21年度は新型インフルエンザの影響で中止された。次年度以降も開催しないことになった

事業	補助金の名称	全国中学校ヨット選手権大会出場補助金				担当部署	部名	教育委員会
212							課名	文化・スポーツ課
							電話	59-8093
総合計画	施策の大綱	第2部	だれもがいきいきと輝くまち	予算科目	一般会計	款	教育費	
	政策名(章)	第2章	だれもがきらめくまちづくり	会計		項	保健体育費	
	施策名(節)	第3節	スポーツ・レクリエーションの振興			目	体育総務費	
補助期間	平成 15 年度		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等	無							

事業目的	対象(交付先)	射北中学校						
	意図(補助目的)	全国中学校ヨット選手権大会に出場する経費(ヨット輸送費)を補助し出場選手が郷土の代表として活躍できるようにする						
事業内容	手段(主な活動)	全国中学校ヨット選手権大会出場						
類型区分		団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助			
		格差是正補助	利子補給	その他()				

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	大会参加者	人	31	26	26	100.0
	大会成績(学校対抗)	位	1	1	1	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度		
	(金額)	500千円	(金額)	800千円	(金額)	500千円	
	(件数)	1件	(件数)	1件	(件数)	1件	
	補助区分	内 容				上限額	
	定額補助	平成20年度は地元開催(海竜マリンパーク)で、大会開催補助としている その他年度は大会出場ヨット輸送費、旅費が主な支出				500千円	
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載						
その他							

評価項目	点数	説明
妥当性	4	全国中学校ヨット選手権大会に出場するための必要経費であり、競技の振興を図り、活力あるまちづくりの推進するための補助であり妥当である。
有効性	3	健康で活力あるまちづくりに寄与しており、有効である。
効率性	3	他に全国大会選手激励金の類似する補助金もあるが、経費がかかる競技であることを考慮すると仕方ないか

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	今後も引き続き支援する。他に全国大会選手激励金の類似する補助金もあるが、経費がかかる競技であることを考慮しなければならない

事業	補助金の名称	姉妹都市等スポーツ団体交流事業補助金				担当部署	部名	教育委員会
213							課名	文化・スポーツ課
							電話	59-8093
総合計画	施策の大綱	第2部	だれもがいきいきと輝くまち	予算科目	一般会計	款	教育費	
	政策名(章)	第2章	だれもがきらめくまちづくり	会計		項	保健体育費	
	施策名(節)	第3節	スポーツ・レクリエーションの振興			目	体育総務費	
補助期間	平成 15 年度		~	平成		年度		
根拠法令・要綱等	無							

事業目的	対象(交付先)	市ゲートボール連盟、市サッカー協会、市野球連盟、スポーツ少年団					
	意図(補助目的)	姉妹都市である千曲市とスポーツ交流を行い、両市の友好関係を促進する					
事業内容	手段(主な活動)	千曲市へ行く場合の補助事業(射水市で事業実施の場合は補助なし) ・親善交流ゲートボール大会(隔年) ・マクドナルドカップU-11サッカー大会(毎年) ・野球交流試合(H19年度) ・スポーツ少年団交流(野球、剣道、マレットゴルフ)(隔年)					
	類型区分	団体運営費補助	事業費補助	施設等整備費補助	政策的補助		
		格差是正補助	利子補給	その他()			

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	ゲートボール参加人数(射水市4チーム参加)	人		23	23	100.0
	サッカー大会参加人数(射水市1チーム参加)	人	21	21	21	100.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度	
	(金額)	210千円	(金額)	140千円	(金額)	140千円
	(件数)	3件	(件数)	2件	(件数)	2件
	補助区分	内 容				上限額
	定額補助	19年度サッカー、ゲートボール、野球				70千円
定率補助	20年度サッカー、スポーツ少年団				上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載	
その他	21年度サッカー、ゲートボール					

評価項目	点数	説明
妥当性	4	姉妹都市である千曲市と友好関係を促進するため、また活力あるまちづくりを推進するための補助であり妥当である。
有効性	3	健康で活力あるまちづくりに寄与しており、有効である。
効率性	4	1件当たり70,000円と少額な補助であるが、事業の効率性は良い。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	今後も引き続き支援する。千曲市へ行く場合、バスの借上げ料が15万円程度かかり、交流参加者の負担が大きいため補助額の検討が必要である。

事業 214	補助金の名称 総合型地域スポーツクラブ育成事業	担当部署 部名 教育委員会 課名 文化・スポーツ課 電話 59-8093
総合計画	施策の大綱 第2部 だれもがいいきと輝くまち 政策名(章) 第2章 だれもがきらめくまちづくり 施策名(節) 第3節 スポーツ・レクリエーションの振興	予算科目 会計 一般会計 款 教育費 項目 保健体育費 目 体育総務費
補助期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	
根拠法令・要綱等	無	

事業目的	対象(交付先) NPOカモンスポーツクラブほか4団体 意図(補助目的) 市民の健康や体力の向上、仲間づくりや生きがいの場となるスポーツクラブの活動を支援する
事業内容	手段(主な活動) 各種スポーツ教室の開催 地域交流イベントの開催 指導者研修の開催 指導者の発掘
類型区分	団体運営費補助 事業費補助 施設等整備費補助 政策的補助 格差是正補助 利子補給 その他()

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	5クラブ会員数	人	3,474	3,500	3,661	104.6

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度			
	(金額)	17,000 千円	(金額)	7,000 千円	(金額)	2,500 千円		
	(件数)	5 件	(件数)	5 件	(件数)	5 件		
	補助区分	内 容				上限額		
	定額補助	500,000円 × 5 スポーツクラブ				500 千円		
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載							
その他								

評価項目	点数	説明
妥当性	4	健康や体力の向上、仲間づくりのため地域のスポーツクラブが教室や行事を企画実施しており、その育成として妥当である。
有効性	4	健康で活力あるまちづくりに寄与しており、有効である。
効率性	4	1件当たり70,000円と少額な補助であるが、事業の効率性は良い。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	スポーツクラブの育成を目的としており平成22年度で2スポーツクラブの補助を終了する。3スポーツクラブは平成23年度で終了し自立した運営とする。

事業 215	事務事業名	パークゴルフブランド化推進費				担当部署	部名	教育委員会	
							課名	文化・スポーツ課	
						電話	59-8093		
総合計画	施策の大綱	第2部 だれもがいきいきと輝くまち			予算科目	会計	一般会計	款	教育費
	政策名(章)	第2章 だれもがきらめくまちづくり						項	保健体育費
	施策名(節)	第3節 スポーツ・レクリエーションの振興						目	体育総務費
事業開始・終了年度		平成 19 年度		~		平成 年度			
根拠法令・要綱等		無							
計画掲載		射水市総合計画実施計画	有	7	頁	個別計画			

事業目的	対象 (誰を・何を)	・全国パークゴルフ選手権大会ミズノカップの市長賞(優勝者記念品) ・全国パークゴルフ交流大会 歓迎・大会看板
	意図 (どのような状態に)	射水市パークゴルフブランド化、普及推進
事業内容	手段 (どのような方法で)	・全国パークゴルフ選手権大会ミズノカップの市長賞(優勝者記念品)授与 ・全国パークゴルフ交流大会 歓迎・大会看板設置

成果指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標	H 23 年度	
				目標	実績	達成率		最終目標	達成率
	ミズノカップ市長賞記念品代	円	42000	42000	40000	95.2	42000		
	全国パークゴルフ大会 歓迎・大会看板代	円	128100	128100	128100	100.0	0		

活動指標	指標名	単位	H20年度 実績	H21年度			H22年度 目標
				目標	実績	達成率	
	ミズノカップ市長賞記念品代	円	42000	42000	40000	95.2	42000
	全国パークゴルフ交流大会 歓迎・大会看板代	円	128100	128100	128100	100.0	0

事業費・人員	事業費		H20決算	H21決算	伸率	H22予算
	事業コスト	直接事業費	170 千円	168 千円	1.2	198 千円
財源内訳	人件費	1,311 千円	1,224 千円	6.6	1,224 千円	
	退職手当引当金相当額	190 千円	180 千円	5.3	180 千円	
	事業コスト計	1,671 千円	1,572 千円	5.9	1,602 千円	
	国県支出金	千円	千円		千円	
	その他	千円	千円		千円	
	一般財源	1,671 千円	1,572 千円	5.9	1,602 千円	
当該事務従事職員数		0.18 人	0.19 人	5.6	0.18 人	

評価項目	点数	説明
必要性	3	射水市がミズノカップに市長賞として後援している。全国パークゴルフ交流大会歓迎・大会看板を設置している。
有効性	4	射水市のパークゴルフブランド化に寄与している。
達成度	4	
効率性	4	コストは低く、効率性はよい

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針 (改善内容)
A	今後も大会を開催する場合、パークゴルフブランド化推進の意図から同様としたい。

事業 216	補助金の名称 全国パークゴルフ選手権大会実行委員会補助金	担当部署 部名 教育委員会 課名 文化・スポーツ課 電話 59-8093
総合計画	施策の大綱 第2部 だれもがいきいきと輝くまち 政策名(章) 第2章 だれもがきらめくまちづくり 施策名(節) 第3節 スポーツ・レクリエーションの振興	款 教育費 項目 保健体育費 目 体育総務費
補助期間	平成 19 年度 ~ 平成 年度	一般会計
根拠法令・要綱等	無	

事業目的	対象(交付先) 全国パークゴルフ選手権大会(ミズノカップ)実行委員会 意図(補助目的) 国際パークゴルフ協会公認の大会を支援することにより、パークゴルフを「射水市ブランド」として全国へ発信する。
事業内容	手段(主な活動) 全国パークゴルフ選手権大会(ミズノカップ)の実施
類型区分	団体運営費補助 事業費補助 施設等整備費補助 政策的補助 格差是正補助 利子補給 その他()

成果指標	指標名	単位	H20年度実績	H21年度		
				目標	実績	達成率
	大会参加者	人	195	200	196	98.0

交付実績	平成19年度		平成20年度		平成21年度			
	(金額)	200 千円	(金額)	180 千円	(金額)	180 千円		
	(件数)	1 件	(件数)	1 件	(件数)	1 件		
	補助区分	内 容				上限額		
	定額補助	全国パークゴルフ選手権大会(ミズノカップ)実行委員会補助				180 千円		
定率補助	上限額は、補助区分が「定額補助」、「その他」のみ記載							
その他								

評価項目	点数	説明
妥当性	3	全国パークゴルフ選手権大会(ミズノカップ)開催を支援することにより、競技の振興を図り、活力あるまちづくりの推進するための補助であり妥当である。
有効性	4	健康で活力あるまちづくりに寄与しており、有効である。
効率性	4	効率的に射水市パークゴルフブランド化を推進している。

評価結果	評価結果を踏まえた今後の方針(改善内容)
A	今後も支援していく。23年度大会を最後に射水市での開催はしないと聞いている